

令和3年度当初予算のポイント

(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

好きなんよ



令和3年2月
呉市上下水道局

令和3年度予算(水道事業会計・工業用水道事業会計・下水道事業会計)

～ 次世代につなぐ 信頼ある上下水道～

- ◎ 「**呉市上下水道ビジョン後期経営計画**」及び「**呉市工業用水道事業経営計画(改定版)**」を着実に実施することにより経営基盤を強化しつつ、**復旧・復興計画**を全力で実施

※ ()内は前年度比較

水道事業会計

- 業務の予定量
給水戸数 111,100戸(▲0.5%), 年間配水量 23,406,000 m³ (▲0.9%), 1日平均配水量 64,126 m³ (▲0.6%)
- 主要な事業
施設の計画的な改築更新, 施設の耐震化の推進, 経営基盤の強化, 復興事業の推進

工業用水道事業会計

- 業務の予定量
給水先事業所数 6社(一), 年間配水量 38,129,500 m³ (▲7.3%), 1日平均配水量 104,464 m³ (▲7.3%)
- 主要な事業
施設の計画的な改築更新, 経営基盤の強化

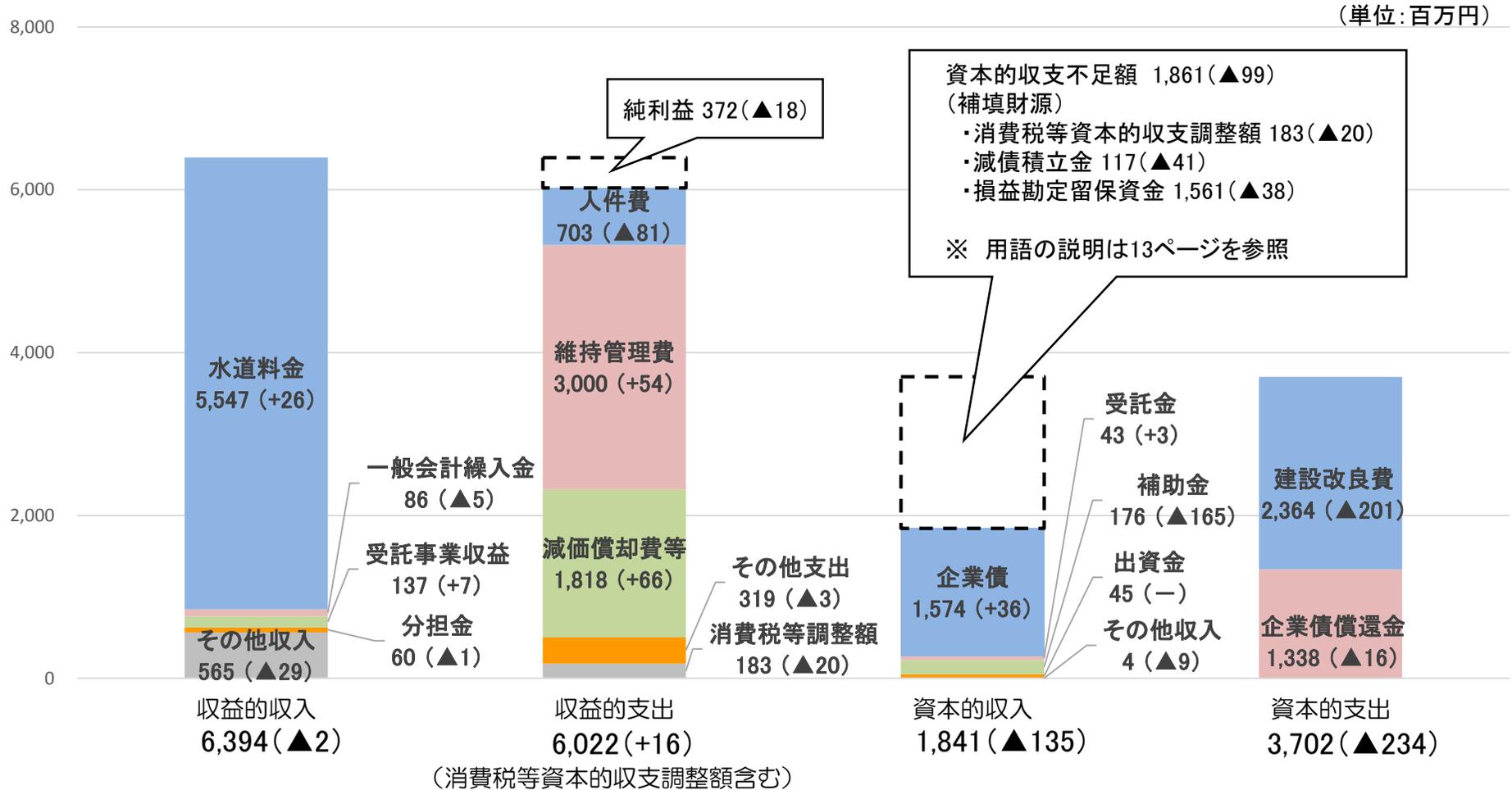
下水道事業会計

- 業務の予定量
排水戸数 95,200戸(▲0.2%), 年間総処理水量 23,882,000 m³ (▲0.7%), 1日平均処理水量 65,430 m³ (▲0.4%)
- 主要な事業
生活排水対策の推進, 浸水対策(雨水整備)の推進, 施設の計画的な改築更新, 施設の耐震化の推進, 経営基盤の強化, 復旧・復興事業の推進

令和3年度 水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 令和3年度予算の収益的収入は、水道料金の増などがあるものの、その他収入の減などによりほぼ横ばい(▲2百万円)、収益的支出は、減価償却費等の増などにより増加(+36百万円)
- 純損益は、前年度に比べ18百万円減の**372百万円の純利益**を計上



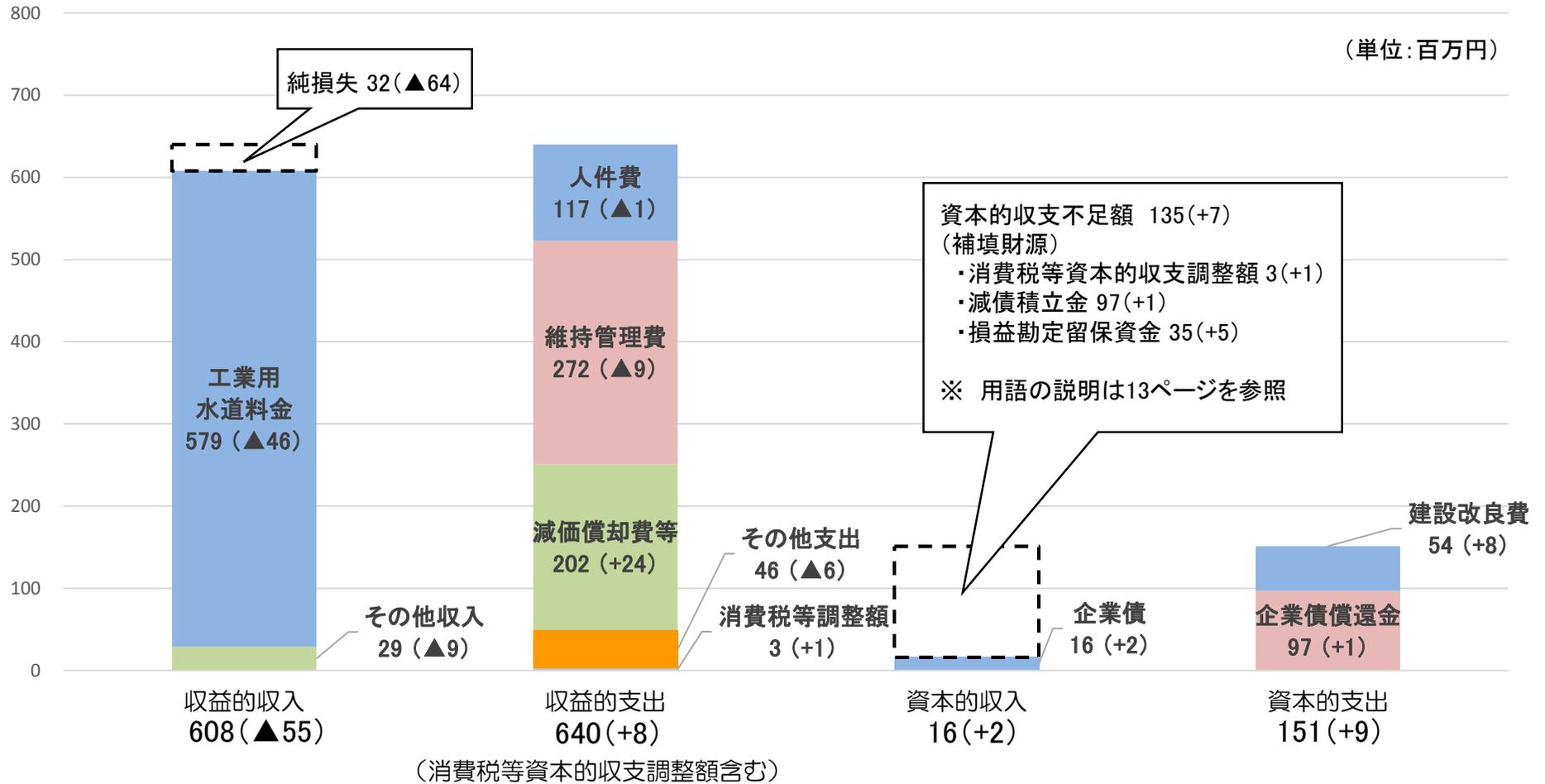
収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

令和3年度 工業用水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 令和3年度予算の収益的収入は、契約水量の減による工業用水道料金の減などにより減少（▲55百万円）、収益的支出は、減価償却費等の増などにより増加（+8百万円）
- 純損益は、前年度に比べ64百万円減の**32百万円の純損失**を計上



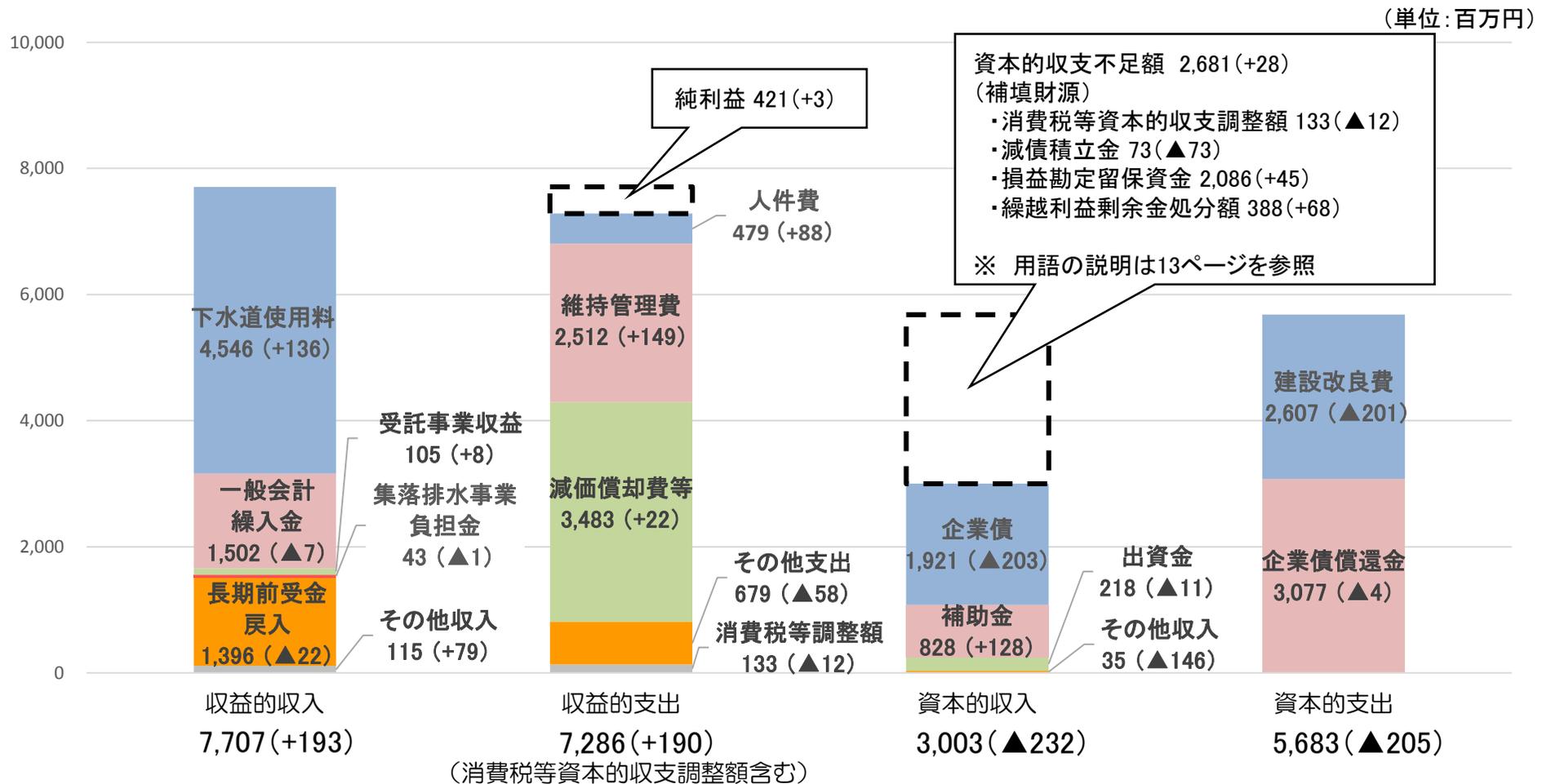
収益的収支予算
（管理・運営等に係る予算）

資本的収支予算
（施設の建設・更新等に係る予算）

令和3年度 下水道事業会計予算

※ 各項目を四捨五入しているため、
合計と一致しない場合がある。
※ ()内は前年度比較

- 令和3年度予算の収益的収入は、下水道使用料の増などにより増加 (+193百万円)、収益的支出は、維持管理費の増などにより増加 (+201百万円)
- 純損益は、前年度に比べ3百万円増の**421百万円の純利益**を計上



収益的収支予算
(管理・運営等に係る予算)

資本的収支予算
(施設の建設・更新等に係る予算)

主要事業

水道 18億3,189万円 工水 2,918万円 下水 22億9,421万円

「呉市上下水道ビジョン後期経営計画」及び「呉市工業用水道事業経営計画（改定版）」を着実に実施

1. 水道施設の計画的な改築更新

水道 18億3,189万円
工水 2,918万円

○管路の更新（配水管更新）

水道 12億7,689万円

○施設の改築更新

水道 5億5,500万円
工水 2,918万円

- ・ 機械・電気設備の更新 水道 2億2,829万円
- ・ 共同施設建設改良事業負担金 水道 1億7,649万円
- ・ 休山隧道配水池の更新 水道 2,300万円

2. 生活排水対策の推進

下水 7億 566万円

- ・ 未普及地区整備 下水 5億7,400万円

3. 浸水対策（雨水整備）の推進

下水 1億 360万円

- ・ 広雨水1号幹線（免田川）整備 下水 9,360万円

4. 下水道施設の計画的な改築更新

下水 14億8,495万円

○管きよの改築更新

下水 1億6,100万円

○処理場・ポンプ場の改築更新

下水 13億2,395万円

- ・ 新宮浄化センター設備更新 下水 8億5,586万円
- ・ 天応浄化センター設備更新 下水 2億7,206万円
- ・ 広浄化センター設備更新 下水 7,911万円

5. 施設の耐震化の推進（再掲）

水道 15億1,543万円
下水 4億4,893万円

○水道施設の耐震化の推進

水道 15億1,543万円

* 「1. 水道施設の計画的な改築更新」と重複

○下水道施設の耐震化の推進

下水 4億4,893万円

* 「3. 浸水対策（雨水整備）の推進」及び「4. 下水道施設の計画的な改築更新」と重複

6. 経営基盤の強化

- ・ 宮原浄水場等維持管理業務委託 水道 3億8,632万円
工水 4,942万円
- ・ 水質検査業務委託 水道 3,013万円
- ・ 検針・収納等業務委託 水道 1億3,565万円
下水 1億1,739万円
- ・ 下水処理場包括的維持管理業務委託 下水 4億6,324万円
- ・ 職員体制再構築計画の推進 水道 △1,844万円
（金額は、退職給付費を除く効果額） 工水 539万円
下水 674万円
- ・ 有識者等による懇談会の開催 水道 12万円
工水 5万円
下水 12万円

復旧・復興事業

水道 17億9,077万円 下水 4億5,393万円

平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向け、「呉市復興計画」に基づき全力で実施

1. 上下水道施設の本復旧

	下水	500万円
○下水道施設	下水	500万円
・復旧に係る橋梁添架負担金	下水	500万円

2. 上下水道施設の強靱化

	水道	15億1,543万円
	下水	4億4,893万円
○水道施設の強靱化	水道	15億1,543万円
* 主要事業「1. 水道施設の計画的な改築更新」及び「5. 施設の耐震化の推進」と重複		
○下水道施設の強靱化	下水	4億4,893万円
* 主要事業「3. 浸水対策（雨水整備）の推進」, 「4. 下水道施設の計画的な改築更新」及び「5. 施設の耐震化の推進」と重複		

3. 県共同施設の防災対策

	水道	1億7,120万円
○共同施設建設改良事業負担	水道	1億7,120万円
・ 広島県等との共同施設に係る建設改良負担金		
* 主要事業「1. 水道施設の計画的な改築更新」と重複		

4. 水道バックアップ施設の整備

	水道	8,534万円
○断水範囲の縮小に向けた管路の整備	水道	8,534万円
・ 川尻地区送水管路整備		
	水道	8,534万円

5. 応急給水体制の強化

	水道	1,880万円
○発災時における応急給水体制の強化	水道	1,880万円
・ 緊急時給水栓設置		
	水道	1,800万円
・ 応急給水活動用備品購入		
	水道	80万円

令和3年度 水道事業会計予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入 A	6,394,406	6,396,821	△2,415	0.0	
水道料金	5,546,730	5,520,480	26,250	0.5	料金改定+95,632
一般会計繰入金	86,046	90,831	△4,785	△5.3	基礎年金拠出金△4,303
受託事業収益	136,789	130,199	6,590	5.1	管理受託収益+6,432
分担金	60,144	61,325	△1,181	△1.9	分担金△1,181
その他収入	564,697	593,986	△29,289	△4.9	退職手当負担金△56,275, 長期前受金戻入+13,071
収益的支出 B	5,839,003	5,803,474	35,529	0.6	
人件費	702,823	784,302	△81,479	△10.4	退職給付費△76,362
維持管理費	2,999,524	2,945,303	54,221	1.8	受水費+31,000, 修繕費+22,917
減価償却費等	1,817,673	1,751,674	65,999	3.8	減価償却費+77,552, 資産減耗費△11,553
その他支出	318,983	322,195	△3,212	△1.0	特別損失△7,334
消費税等資本的収支調整額 C	△183,197	△203,002	19,805	—	
純損益(A-B+C)	372,206	390,345	△18,139	—	

令和3年度 水道事業会計予算の内訳

(2) 資本的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
資本的収入 A	1,840,996	1,975,911	△134,915	△6.8	
企業債	1,573,600	1,537,600	36,000	2.3	水道管路整備事業債+90,000, 災害復旧事業債△84,600
受託金	42,912	40,027	2,885	7.2	広島県共同施設整備受託金+2,885
補助金	175,884	340,397	△164,513	△48.3	災害復旧費国庫補助金△186,902
出資金	44,819	44,721	98	0.2	旧簡水の企業債元金+98
その他収入	3,781	13,166	△9,385	△71.3	工事負担金△9,385
資本的支出 B	3,702,026	3,935,740	△233,714	△5.9	
建設改良費	2,363,769	2,564,348	△200,579	△7.8	災害復旧事業△288,783, 管路整備事業+143,002
企業債償還金	1,338,257	1,354,060	△15,803	△1.2	建設企業債△15,803
(返還金)	0	17,332	△17,332	皆減	国庫補助金返還金△17,332
収支不足額 (A-B)	△1,861,030	△1,959,829	98,799	—	

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和3年度 工業用水道事業会計予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入 A	608,167	663,638	△55,471	△8.4	
工業用水道料金	578,803	624,434	△45,631	△7.3	契約水量の変更△45,631
一般会計繰入金	438	3,934	△3,496	△88.9	基礎年金拠出金△3,478
その他収入	28,926	35,270	△6,344	△18.0	退職手当負担金△6,956
収益的支出 B	637,166	629,522	7,644	1.2	
人件費	116,895	118,290	△1,395	△1.2	退職給付費△6,956, 給料+3,062
維持管理費	272,163	281,643	△9,480	△3.4	動力費△23,698, 委託料+16,667
減価償却費等	201,852	177,532	24,320	13.7	資産減耗費+19,322, 減価償却費+4,998
その他支出	46,256	52,057	△5,801	△11.1	消費税納税額△4,368, 企業債利息△1,433
消費税等資本的収支調整額 C	△2,803	△2,058	△745	—	
純損益(A-B+C)	△31,802	32,058	△63,860	—	

令和3年度 工業用水道事業会計予算の内訳

(2) 資本的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
資本的収入 A	16,301	14,501	1,800	12.4	
企業債	16,300	14,500	1,800	12.4	工業用水道施設整備事業債+1,800
その他収入	1	1	0	—	
資本的支出 B	151,279	142,117	9,162	6.4	
建設改良費	54,474	46,559	7,915	17.0	施設整備事業+6,628
企業債償還金	96,805	95,558	1,247	1.3	建設企業債+1,247
収支不足額 (A-B)	△134,978	△127,616	△7,362	—	

※収支不足額は、損益勘定留保資金等で補填

令和3年度 下水道事業会計予算の内訳

(1) 収益的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
収益的収入 A	7,707,097	7,514,254	192,843	2.6	
下水道使用料	4,545,645	4,409,312	136,333	3.1	使用料改定+81,381
一般会計繰入金	1,502,475	1,508,995	△6,520	△0.4	経営安定化補助金△39,322, 企業債利息△4,613 雨水処理に要する経費+42,199
受託事業収益	104,975	96,985	7,990	8.2	東部処理場+5,468
集落排水事業負担金	42,513	43,780	△1,267	△2.9	人件費△1,267
長期前受金戻入	1,396,444	1,418,778	△22,334	△1.6	有形固定資産長期前受金戻入△22,334
その他収入	115,045	36,404	78,641	216.0	退職手当負担金+75,427
収益的支出 B	7,153,011	6,951,602	201,409	2.9	
人件費	478,969	390,859	88,110	22.5	退職給付費+77,572
維持管理費	2,512,163	2,362,988	149,175	6.3	修繕費+93,112, 委託料+69,866
減価償却費等	3,482,910	3,460,582	22,328	0.6	資産減耗費+56,955, 減価償却費△34,627
その他支出	678,969	737,173	△58,204	△7.9	企業債利息△70,928, 消費税納税額+12,758
消費税等資本的収支調整額 C	△133,306	△144,986	11,680	—	
純損益(A-B+C)	420,780	417,666	3,114	—	

令和3年度 下水道事業会計予算の内訳

(2) 資本的収支

(単位:千円, % 税込)

区分	令和3年度 ①	令和2年度 ②	比較		主な増減理由
			増減(①-②)	伸び率	
資本的収入 A	3,002,611	3,234,900	△232,289	△7.2	
企業債	1,921,200	2,123,900	△202,700	△9.5	公共下水道事業債△84,300, 災害復旧事業債△50,300
補助金	828,477	700,600	127,877	18.3	建設改良事業国庫補助金+157,477
出資金	217,806	229,208	△11,402	△5.0	企業債元金△11,402
その他収入	35,128	181,192	△146,064	△80.6	工事負担金△147,200
資本的支出 B	5,683,371	5,888,117	△204,746	△3.5	
建設改良費	2,606,771	2,807,865	△201,094	△7.2	管渠整備事業△242,500
企業債償還金	3,076,600	3,080,252	△3,652	△0.1	建設企業債△47,907, 資本費平準化債+44,255
収支不足額 (A-B)	△2,680,760	△2,653,217	△27,543	—	

※収支不足額は, 損益勘定留保資金等で補填

◎ 用語の説明

○ 消費税等資本的収支調整額

資本的支出で支払った消費税と資本的収入で受け入れた消費税との差額。
この差額は、資本的収支の補填財源に使用する。

○ 減債積立金

企業債の元金償還に充てるための積立金。
事業活動によって得た利益を、議会の議決を経て積み立てる。

○ 損益勘定留保資金

減価償却費等から長期前受金戻入（国からの補助金等）を除いた額。
収益的収支のうち、現金を伴わない支出と収入との差額は企業内部に留保され、補填財源に使用する。

○ 繰越利益剰余金処分類

前年度末に繰越利益剰余金として確実に見込まれる金額のうち、議会の議決を経て、減債積立金等に処分する
予定額。

繰越利益剰余金は、本来、決算後に議会の議決を経て処分することとなるが、資金不足が他の補填財源を用いても解消されない場合などにおいて、予算に定めるところにより見込まれる金額を補填財源に使用することができる。

**呉市上下水道ビジョン基本施策及び
復旧・復興事業**

呉市上下水道ビジョン（2014－2023）基本施策体系

《基本理念》 次世代につなぐ 信頼ある上下水道

※ ★は重点施策

基本方針	基本施策	具体的な取組
1 安全で安心な水道水の供給	1-1 水道水の安全性の確保 1-2 水道施設の適切な維持管理 ★ 1-3 施設の最適化 ★ 1-4 水道施設の計画的な改築更新	(1)水質管理体制の充実 (2) 安全な水道水の供給 (1) 漏水対策の推進 (2) 水道施設情報の効率的な活用 (1) 水源系統の最適化 (2) 施設運用の最適化 (1) 管路の更新 (2) 施設の改築更新
2 快適で安心な暮らしを支える下水道	2-1 生活排水対策の推進 ★ 2-2 浸水対策（雨水整備）の推進 2-3 下水道施設の適切な維持管理 ★ 2-4 下水道施設の計画的な改築更新	(1) 未普及地区の整備促進 (2) 公共用水域への放流水質の管理 (1) 浸水対策事業の推進 (1) 維持管理体制の強化 (1) 管きよの改築更新 (2) 処理場・ポンプ場の改築更新
3 お客様とのコミュニケーションの推進	3-1 広報・広聴活動の推進 3-2 お客様の利便性の向上	(1) 情報提供の充実 (2) お客様ニーズの把握と意見反映 (1) 総合窓口の充実 (2) 料金納付の利便性の向上
4 災害等に対する危機管理対策の強化	★ 4-1 施設の耐震化の推進 4-2 防災体制の強化	(1) 水道施設の耐震化の推進 (2) 下水道施設の耐震化の推進 (1) 防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施 (2) 応急給水・復旧体制の強化 (3) 連携体制の強化
5 環境にやさしい水循環の創出	5-1 環境にやさしい事業活動の推進	(1) 資源の有効活用の推進 (2) 環境負荷の低減 (3) 環境保全活動の推進
6 健全で安定的な事業運営	★ 6-1 経営基盤の強化 6-2 組織力の強化・向上	(1) 効率的な事業の推進 (2) 民間活力の導入の推進 (1) 人材育成の推進 (2) 技術継承の推進 (3) 機能的な組織体制づくり

呉市上下水道ビジョン基本施策及び復旧・復興事業 目次

1. 安全で安心な水道水の供給

- 1-1 水道水の安全性の確保 17
- 1-2 水道施設の適切な維持管理 17
- 1-3 施設の最適化 18
- 1-4 水道施設の計画的な改築更新 19

2. 快適で安心な暮らしを支える下水道

- 2-1 生活排水対策の推進 20
- 2-2 浸水対策（雨水整備）の推進 20
- 2-3 下水道施設の適切な維持管理 21
- 2-4 下水道施設の計画的な改築更新 21

3. お客様とのコミュニケーションの推進

- 3-1 広報・広聴活動の推進 23
- 3-2 お客様の利便性の向上 23

4. 災害等に対する危機管理対策の強化

- 4-1 施設の耐震化の推進 24
- 4-2 防災体制の強化 24

5. 環境にやさしい水循環の創出

- 5-1 環境にやさしい事業活動の推進 26

6. 健全で安定的な事業運営

- 6-1 経営基盤の強化 27
- 6-2 組織力の強化・向上 28

復旧・復興事業

- 1 上下水道施設の本復旧 29
- 2 上下水道施設の強靱化 29
- 3 県共同施設の防災対策 29
- 4 水道バックアップ施設の整備 30
- 5 応急給水体制の強化 30

（注）各項目には、主な事業を掲載しているため、令和3年度予算額（右上表記）と合計が一致しない場合がある。

（注）一部、重複計上（（再掲）表記）がある。

1. 安全で安心な水道水の供給

【1-1】水道水の安全性の確保

◎水質管理体制の充実

令和3年度予算額 【水道・工水】48,602千円 (44,974千円)

水源監視体制の強化に努めるとともに、水安全計画及び水質検査計画に基づき、水道法で定められた水質基準項目等を徹底して管理するため、計画的に水質検査機器を更新

- ◆【継続】水質管理事業 【水道・工水】 42,267千円
- ◆【継続】水質検査機器の購入 【水道】 6,335千円



水質検査

◎安全な水道水の供給

令和3年度予算額 【水道】— (—)

計画給水区域内の水道未給水の解消に向けて、効率的に普及を促進

1. 安全で安心な水道水の供給

【1-2】水道施設の適切な維持管理

◎漏水対策の推進

令和3年度予算額 【水道・工水】163,237千円 (162,701千円)

漏水事故の未然防止を図るため、呉市全域を6つの地域に分け、効果的な漏水調査を実施
定期的に管路等の調査・点検を実施し、事故を未然に防止

- ◆【継続】漏水調査計画 【水道】 10,989千円

6ブロックを、6年1サイクルで実施

【R3年度実施予定地区】 中央地区、川尻地区、豊浜地区、豊地区、東部幹線及び西部幹線

- ◆【継続】水道管路等維持管理業務委託 【水道・工水】 144,240千円

◎水道施設情報の効率的な活用

令和3年度予算額 【水道】11,754千円 (7,981千円)

膨大な管路情報を一元管理する水道施設情報管理システム等を緊急時の迅速な復旧体制の確立及び効率的な維持管理に活用

◆【継続】水道施設情報管理システムデータ更新ほか 【水道】11,754千円

1. 安全で安心な水道水の供給

【1-3】施設の最適化 《重点施策》

◎水源系統の最適化

令和3年度予算額 【水道】1,332,299千円 (1,301,299千円)

将来の水需要の見通しと、水道及び工業用水道の水源を総合的に検討し、適正な規模での水源の利用を継続的に実施

◆【継続】広島水道用水供給事業からの受水 【水道】1,332,299千円



広島水道用水供給事業の取水施設
(高瀬堰：広島市安佐北区)

◎施設運用の最適化

令和3年度予算額 【水道・工水】 — (—)

「呉市水道アセットマネジメント計画」を基に、管路の口径縮小及び配水池などの施設の適切なダウンサイジングを行い、施設を効率化



宮原浄水場

1. 安全で安心な水道水の供給

【1-4】水道施設の計画的な改築更新 《重点施策》

◎管路の更新

令和3年度予算額 【水道】1,276,891千円 (1,224,429千円)

全市域を対象とした管路更新計画に基づいて、老朽化が進んだ配水管を耐震性の高い管に更新
特に、昭和44年以前に整備した漏水のおそれのある古い材質の口径75mm以上の無ライニング鑄鉄管は、令和5年度までに解消

◆【継続】配水管更新 【水道】1,264,581千円

管路更新計画に基づき管路を更新（L=13,408m）
（老朽化している配水管を耐震性の高い配水管へ更新）

◎施設の改築更新

令和3年度予算額 【水道・工水】584,179千円 (625,740千円)

「呉市上下水道ビジョン」に基づき、老朽化が進んだ配水池等の施設を継続して更新

◆【継続】機械・電気設備の更新 【水道】228,291千円

宮原浄水場外遠方監視制御設備，休山隧道配水池電気計装設備，焼山ポンプ所外機械電気設備設計業務

◆【継続】共同施設建設改良事業負担金 【水道】176,491千円

広島県等との共同施設に係る建設改良負担金

◆【継続】休山隧道配水池の更新 【水道】23,000千円

老朽化している休山隧道配水池の更新を行うための地質調査

2. 快適で安心な暮らしを支える下水道

【2-1】生活排水対策の推進

◎未普及地区の整備促進

令和3年度予算額 【下水】695,433千円 (941,970千円)

下水道未普及地区の解消を図るため、国庫補助金を活用しながら計画的に整備を促進

◆【継続】未普及地区整備 【下水】574,000千円

下水道管きよを整備（L=5,814m）

◎公共用水域への放流水質の管理

令和3年度予算額 【下水】10,231千円 (17,825千円)

下水道排水基準に適合して下水道に排出するための「除害施設」を設置している事業場等への立入調査及び事業場排水の水質検査により、監視指導を継続的に実施

◆【継続】水質検査等業務 【下水】5,025千円

2. 快適で安心な暮らしを支える下水道

【2-2】浸水対策（雨水整備）の推進 《重点施策》

◎浸水対策事業の推進

令和3年度予算額 【下水】103,600千円 (209,000千円)

JR広駅を中心とした広東地区における浸水被害の発生頻度の減少や被害の軽減を図るため、雨水の浸水対策を実施

◆【継続】広雨水1号幹線（免田川）整備 【下水】93,600千円

広東地区の浸水防止を図るため、免田川を整備（L=50m）



整備後の広雨水1号幹線
（免田川）

2. 快適で安心な暮らしを支える下水道

【2-3】下水道施設の適切な維持管理

◎維持管理体制の強化

令和3年度予算額 【下水】228,621千円 (225,079千円)

定期的な施設機能の点検や調査によって施設の状況を的確に把握し、必要に応じて修繕や改築更新を進めることにより、事故を未然に防止し施設を延命化

- ◆【継続】管きよの維持管理（清掃調査等） 【下水】134,811千円
- ◆【継続】処理場・ポンプ場の維持管理（計装設備等点検） 【下水】93,810千円

2. 快適で安心な暮らしを支える下水道

【2-4】下水道施設の計画的な改築更新 《重点施策》

◎管きよの改築更新

令和3年度予算額 【下水】161,000千円 (291,676千円)

下水道事業創設期に整備された中央地区の合流幹線や大口径管きよ等を対象に計画的な管更生を実施しており、引き続きストックマネジメント計画に基づき、幹線管きよの長寿命化を実施

- ◆【継続】下水道管きよ改築更新 【下水】136,000千円

ストックマネジメント計画に基づき下水道管きよを更新（L=384m）



更生工事完了後の下水道管

◎処理場・ポンプ場の改築更新

令和3年度予算額 【下水】1,323,950千円（756,924千円）

令和元年度からストックマネジメント計画に基づき、新宮浄化センター等の設備の計画的な改築更新を実施

- ◆ **【継続】 新宮浄化センター設備更新** 【下水】 855,855千円
老朽施設（沈砂池設備等）を更新
- ◆ **【継続】 天応浄化センター設備更新** 【下水】 272,055千円
老朽施設（監視制御設備等）を更新
- ◆ **【継続】 広浄化センター設備更新** 【下水】 79,110千円
老朽施設（最初沈殿池設備等）を更新



新宮浄化センター

3. お客様とのコミュニケーションの推進

【3-1】広報・広聴活動の推進

◎情報提供の充実

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】 2,606千円 (2,920千円)

上下水道事業の経営状況、現況及び課題、その取組などを市の広報紙、ホームページ及び出前トークなどにより、分かりやすく的確に情報を発信

上下水道事業を広くPRするため、小学校訪問授業等を開催

◆【継続】子ども水道教室 【水道・工水・下水】 375千円



子ども水道教室

◎お客様ニーズの把握と意見反映

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】 200千円 (200千円)

お客様から寄せられる要望や苦情の分析により、サービスを改善

3. お客様とのコミュニケーションの推進

【3-2】お客様の利便性の向上

◎総合窓口の充実

※お客様サービス向上経費は、重点施策6「経営基盤の強化」に含む。

お客様サービス向上のため、ワンストップサービスを引き続き実施

◎料金納付の利便性の向上

令和3年度予算額 【水道・下水】 16,333千円 (16,426千円)

水道料金等の支払時における負担感の軽減化を図るため、口座振替によりお支払いいただくお客様を対象に、平成26年10月検針分から毎月徴収を実施し、口座振替の利用を促進

時間や場所を選ばず水道料金等の支払が可能なスマートフォン決済アプリ「Pay B（ペイビー）」の令和2年度導入に続き、令和3年度から新たなスマートフォン決済アプリを追加し、納付環境の利便性を更に向上

◆【継続】口座振替等手数料 【水道・下水】 11,453千円

◆【継続】コンビニ等払込手数料 【水道・下水】 4,880千円

4. 災害等に対する危機管理対策の強化

【4-1】施設の耐震化の推進 《重点施策》（再掲）

※耐震性向上経費は、「1-4水道施設の計画的な改築更新」と重複

◎水道施設の耐震化の推進

令和3年度予算額 【水道】1,515,432千円（1,357,372千円）

施設は、計画的な更新により耐震化を図り、管路は、新設や更新の際に、耐震性や耐久性に優れたダクタイル鋳鉄管や配水用ポリエチレン管を使用し耐震化を推進

※耐震性向上経費は、「2-2浸水対策（雨水整備）の推進」及び「2-4下水道施設の計画的な改築更新」と重複

◎下水道施設の耐震化の推進

令和3年度予算額 【下水】448,930千円（514,676千円）

管きよの改築時に合わせて、可とう性のある材質を使用するなどの耐震化を推進し、新たに布設する管きよは、可とう管及び可とう継手を使用し耐震対策を推進

4. 災害等に対する危機管理対策の強化

【4-2】防災体制の強化

◎防災マニュアルの充実と定期的な訓練の実施

令和3年度予算額

【水道・工水・下水】84千円（84千円）

定期的な訓練の実施及び（公社）日本水道協会主催の防災訓練等への参加を継続するとともに、実際の応援復旧活動や訓練のフィードバックから防災マニュアルの見直しを実施



周防大島町への応援給水
（平成30年度）

◎応急給水・復旧体制の強化

令和3年度予算額 【水道】112,498千円 (53,123千円)

災害に備えて、関係機関との相互応援体制の充実を図るとともに、地域防災訓練へ積極的に参加するなど、市民との連携体制を強化

平成30年7月豪雨災害を教訓に、断水を受ける市民への影響を最小限に抑えるため、管路等を整備し、バックアップ体制等を強化

◆【継続】川尻地区送水管路整備 【水道】85,338千円

川尻地区のバックアップ体制を強化するため、送水ルートを整備

◆【継続】緊急時給水栓設置 【水道】18,000千円

給水拠点に速やかに給水を行うため、給水栓及び補水栓を設置（4か所）



応急給水訓練

◎連携体制の強化

令和3年度予算額 【水道・工水】87,882千円 (18,950千円)

関係機関との連携体制を強化するとともに、上下水道施設においても警備体制を強化するため、侵入防止フェンス及び防犯センサー・カメラを整備し、総合的な監視体制を強化

◆《新規》宮原浄水場電動門扉設置工事 【水道・工水】64,047千円

5. 環境にやさしい水循環の創出

【5-1】環境にやさしい事業活動の推進

◎資源の有効活用の推進

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】 323,725千円 (292,448千円)

浄水処理，汚水処理から発生する汚泥について，コンポスト（汚泥堆肥）の原材料及びセメント原燃料として100%有効利用

◎環境負荷の低減

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】 — (—)

「呉市地球温暖化対策実行計画」に基づき，事業から排出される温室効果ガスを削減
設備等の施設更新に合わせ，エネルギー消費の少ない施設及びシステムを整備

◎環境保全活動の推進

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】 312千円 (312千円)

広島市の「太田川源流の森」での住民参加型の森林保全活動（林業体験活動，森林学習）を通じて，水源涵養の啓発活動を実施

水に親しみ，水循環の大切さ等を啓発するため，小学校訪問授業等を開催

◆ **【継続】太田川流域水源涵養推進協議会負担金** 【水道・工水・下水】 309千円

6. 健全で安定的な事業運営

【6-1】経営基盤の強化 《重点施策》

◎効率的な事業の推進・民間活力の導入の推進

持続可能な事業経営を確立するため、管理運営について最大限効率化を図った上で、水道料金及び下水道使用料の適正化を図るなど、事業経営の健全性を確保し、経営基盤を強化

- ◆ **【継続】 宮原浄水場等維持管理業務委託（R1～5年度）** 【水道・工水】 435,740千円
宮原浄水場等の維持管理業務を指定管理者制度により実施
- ◆ **【継続】 水質検査業務委託（R3～5年度）** 【水道】 30,130千円
水質検査項目のうち、23項目の検査業務を委託
- ◆ **【継続】 検針・収納等業務委託（R1～6年度）** 【水道・下水】 253,044千円
水道メータの検針業務・料金の収納業務・窓口業務等を委託
- ◆ **【継続】 下水処理場包括的維持管理業務委託（R2～4年度）** 【下水】 463,235千円
新宮・広浄化センター及び旧市内のポンプ場・マンホールポンプの維持管理業務を包括的に委託
- ◆ **【継続】 職員体制再構築計画の推進**
(△：効果額) 【水道】 △18,444千円 【工水】 5,389千円 【下水】 6,743千円
正職員2人増 (R2) 167人 → (R3) 169人
- ◆ **【継続】 有識者等による懇談会の開催** 【水道・工水・下水】 294千円
全国的に活躍されている学識経験者や公営企業の経営に精通する有識者等に計画の評価等を意見聴取

6. 健全で安定的な事業運営

【6-2】組織力の強化・向上

◎人材育成の推進

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】7,422千円 (7,414千円)

(第2期) 呉市人材育成基本方針に加えて上下水道局独自の研修等を実施し、職員の質的向上を図ることにより、上下水道ビジョンの実現にふさわしい職員の育成を推進

◎技術継承の推進

※技術研修経費は、上記「人材育成の推進」の研修経費に含む。

日常の仕事を通じた知識、技術等の習得、局内での研修及び外部研修の活用により、技術継承を推進

◎機能的な組織体制づくり

令和3年度予算額 【水道・工水・下水】89,174千円 (88,229千円)

効率的な組織運営を進めるとともに、環境の変化に柔軟な対応ができる機能的な組織づくりを推進
第2次呉市上下水道局職員体制再構築計画に基づき、サービスの向上及び危機管理の在り方等に配慮しながら、定員を適正化

◆ **【継続】市長事務部局共通常務経費負担金** 【水道・工水・下水】60,461千円

復旧・復興事業

1 上下水道施設の本復旧

◎下水道施設：被災した下水道施設の早期復旧の推進

令和3年度予算額
【下水】5,000千円（84,900千円）

◆【継続】汚水幹線 【下水】5,000千円

下水道管の復旧に係る橋梁添架負担金（天応焼山汚水幹線）

復旧・復興事業

2 上下水道施設の強靱化（再掲）

◎水道施設：水道施設の耐震化等による強靱化の推進

令和3年度予算額
【水道】1,515,432千円（1,357,372千円）

※「1-4 水道施設の計画的な改築更新」及び「4-1 施設の耐震化の推進」と重複

◎下水道施設：下水道施設の耐震化等による強靱化の推進

令和3年度予算額
【下水】448,930千円（514,676千円）

※「2-2 浸水対策（雨水整備）の推進」，「2-4 下水道施設の計画的な改築更新」及び「4-1 施設の耐震化の推進」と重複

復旧・復興事業

3 県共同施設の防災対策

◎水道施設：広島県が実施する共同施設の防災対策への応分負担

令和3年度予算額
【水道】171,197千円
（34,293千円）

◆【継続】共同施設建設改良事業負担金 【水道】171,197千円（再掲）

広島県等との共同施設に係る建設改良負担金（戸坂取水場浸水対策工事負担金等）

※「1-4 水道施設の計画的な改築更新」と重複

復旧・復興事業

4 水道バックアップ施設の整備

◎断水範囲の縮小に向けた管路の整備 令和3年度予算額 【水道】85,338千円（12,000千円）

◆【継続】川尻地区送水管路整備 【水道】85,338千円（再掲）

川尻地区のバックアップ体制を強化するため、送水ルートを整備

復旧・復興事業

5 応急給水体制の強化

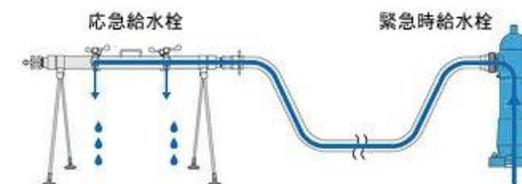
◎発災時における応急給水体制の強化 令和3年度予算額 【水道】18,799千円（33,100千円）

◆【継続】緊急時給水栓設置 【水道】18,000千円（再掲）

給水拠点に速やかに給水を行うため、給水栓及び補水栓を設置（4か所）

◆【継続】応急給水活動用備品購入 【水道】799千円

応急給水活動用の給水栓セット（2基）等を購入



イメージ図